

学校組織マネジメント研修会

8月4日(木)に学校組織マネジメント研修を行いました。舩肥中学校の更なる組織力向上を目指し、「チーム舩肥中」になるため、グループ討議を中心にいろんな意見を出し合いました。

まず、一人一人の役割や仕事を理解するために①誰がどんな仕事をしているかを確認し合いました。次に②一人一人の課題や悩みを書いてグループの先生からアドバイスを個別に書いてもらいました。そして最後に③もっといい職場にするための策を考えてもらいました。誰がどんな仕事をしているのか、誰がどんな悩みを抱えているのか等を共有できたこと、そして解決方法をみんなで考えたことで、少しは「チーム舩肥中」に近づいた気がしました。以下は、研修後の職員の感想です。

「先生方の対策を読みながら、ほっとするところもありました」「コミュニケーションをしっかりと取って、その人を知ること、知る取り組みが大切だと思った」「いろんな立場の人から意見を聞くことは大事だと思った」

「アドバイスを頂いてやってみようという気持ちになったし、自分が気づいてなかったことにも気づくことができました。同じ悩みをもっていることで安心した」「ベテランの先生もいろんな悩みがあって、自分の悩みなんてちっぽけだなと感じた。アドバイスを素直に実行したい」「全ての先生が見えないところでいろいろな仕事をして、学校が成り立っていると思った。それに気づける人になりたい」「感謝の言葉が大事だと思う」「参考になるありがたい意見に本当に感謝です」「今回のような研修を日常の会話の中でできる雰囲気を作りたい」



タブレット活用研修会

同じく8月4日(木)に赤江東中学校から指導教諭の遠目塚由美先生をお招きして、様々なロイロノートの機能について学びました。研修内容は、「ロイロノートを使って友人を紹介する」というものでした。実際の授業の様子を見ながら、ペアを作り、いろいろな機能を駆使して紹介スピーチを作ることができました。遠目塚先生の楽しくかつテンポのいい説明であつという間に時間が流れていきました。

今回習ったことを参考に、生徒が少しでも興味を持って取り組む授業を目指していきたいと思えます。



本校の先生の紹介をします パート4

社会の先生です。研究主任として生徒や職員のロイロノート活用に尽力してくれています。陸上部顧問として、生徒に負けないうらい日焼けして、指導を頑張っています。

3年担任 溝口先生

地区の英語科理事長を担い、忙しい毎日を送っています。また、通信にはいつも心のこもったメッセージが綴られています。体育大会では団顧問として頑張ってくれます！

3年担任 岡野先生

学年主任・進学主任として、生徒と職員をしっかりとリードしてくれています。昨年までスペイン日本人学校勤務でした。生け花の資格も持っている多才な先生です。

3年副担 矢野先生

「生きているということは 誰かに借りをつくること 生きてゆくということは その借りを返してゆくこと」

永六輔さんの言葉です。コロナ禍の今、生活をしていくうえで自分が知らない様々な人のお世話になっていることを再確認することがあります。先日、病院での医師や看護師さんの姿を見てさらにそう思いました。まだまだ、借りをつくることばかりですが、なんとか自分なりの方法で少しずつ返していきたいと思っています。(校長のつぶやき)